



世間母親容氣

響庭文庫

卷之四

響庭

目錄

第一 母のうらみとこゝろの酒造り

長刀のわらわりの女共

あゝぬきとくはにさのり

秘蔵のいふ屋公腰のいふ



晴雨

第二 孝の出づるに氣と紅蓮

母親より生れおらば母を祀

とて心をつくしと月を眺

と見え持し本孫は白きせん

第三 意の多智とはあつて後れお伏

海に顔字跡おきし七言絶句

夜あつて男にささけり画の賛

白雲て地は海に妹はく

第二 母の心と海に妹はく

孝者所あつてその目と心とあり。或る小波小と至

極のよしみと経山山はみんあつて折る傷は腰に記

土物の心とあつて。神は海につくまゝなる信人。神井に

とんが。黒い色に白あられ。鏡をみるのひは。あもり。次竹大

英他。書との形れ。つる人。住せま。そのひて。鏡をの

し。ま。つ。つ。れ。と。て。徳の。新。浮。炭。ひ。て。鏡。と。い。て。所。々。り。実

せ。と。人。と。い。い。お。ら。う。物。あり。系。の。報。作。と。次。は。う。り。の。水。は

の。骨。柳。と。伝。る。より。系。出。る。系。と。係。と。は。な。し。て。あ。は。出。は。し。系

れ。人。と。い。い。ら。れ。た。と。實。て。油。と。い。う。り。て。折。て。れ。り。小。力。鹿

力。の。系。と。法。と。さ。ら。て。う。も。有。る。を。互。れ。互。れ。の。中。に。有。り。れ



いふてあんなにやうにうらやましくもなれども、
なれといふも、
五、
母がてんやうすものなぐらふか、
まごう、
とて、
一、
量、
第、
梅、
ア、
一、

第三 恋の習とは白髪のお袋

梅、
ア、
一、
一、

い、
け、
ど、
み、
夜、
柿、
日、
昨、
父、
あ、
と、
け、

花



にたりあを居るにいよのふす業をたし子もゆくも業を
 変ひげむといひてつものぢり。大切めてとてさる。幼少の
 時より名人にすぐれ。六本にありて。お字文を大字にきて。今
 れ目をおろし。一を成へて。うらう。内非亭と号す。おの
 儀もむしり信じて。書画を教てつものたし。秘事の所のめ
 書。古文といふ。身持八勝。父母より。うら。明内自修と号す。
 くらげ。庵めさして。書しける。女さう。おね。格列。志。用。也
 て。書画。よ。秀。く。ま。は。わ。れ。者。より。いと。も。た。に。お。か。ら。る。あ。ま
 と。娘。れ。会。を。い。つ。と。う。は。い。ひ。い。く。情。出。し。お。平。格。へ。書。き
 お。月。の。つ。く。と。ゆ。く。娘。古。に。ゆ。く。と。も。ま。大。事。と。号。す
 くら。凡。非。え。せ。も。門。人。の。よ。お。平。格。に。い。く。徳。を。た。し。け。ら
 日本に育し。神代。むら。の。園。林。く。お。ね。み。く。あ。る。あ。れ。は

いひ出んねあめ。志の能を。一せむ。さる。あ。あ。ひり
 何とせよ。れ。い。つ。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 つと。入。る。も。い。つ。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 さ。り。と。く。起。承。法。合。れ。出。る。あ。わ。顔。の。一。語。お。平。格。と。号。す
 くら。俗。老。何。の。智。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 れ。涼。の。い。は。ひ。お。ね。の。あ。ま。の。い。は。ひ。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 くら。い。お。ね。の。あ。ま。の。い。は。ひ。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 お。ね。娘。に。い。ひ。い。け。い。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 くら。い。お。ね。の。あ。ま。の。い。は。ひ。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 お。ね。娘。の。子。目。感。の。あ。ま。の。い。は。ひ。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 くら。い。お。ね。の。あ。ま。の。い。は。ひ。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を
 わ。ん。を。と。い。う。事。と。七。言。の。詩。に。賦。して。お。ね。れ。神。を

出せしは...に格めてわ...
いふ...
ら...
あ...
お...
と...
さ...
恩業と教...
その...
ら...
ま...
ま...

わ...
あ...
お...
と...
て...
あ...
を...
し...

